

おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう

2017年度実践（2018年2月実践）

1 ねらい

おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう

自習の補欠に入ることになったので、前時までの学習を参考にして、じゃんけんゲームで足し算の勉強をしました。前半は、じゃんけんゲームで子どもたちの学習意欲を高めました。後半は、難しい問題に挑戦させました。

おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう2

再び、自習の補欠に入ることになったので、前回の続きを行いました。前回、じゃんけんゲーム(5回戦)を斑で実施したことから時間がかかりました。今回は先生とじゃんけんすることにしました。また、前回、難しい問題に取り組ませたとき、図に書いて考えることができない子が多かったので、図に書いて考えることを改めて指導することにしました。最後に、問題を作ることに挑戦させました。友だちが作った問題は興味をもって取り組むのではないかなど考えました。興味をもって取り組みながら、繰り返しの練習ができてよいつも考えました。

おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう3

子どもたちが作った問題をまとめました。宿題としました。

2 実践内容

おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう	1時間
おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう2	1時間
おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう3（一部のみ掲載）	宿題

3 授業の様子

【2018年2月28日 「おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう」】

※「分からない子からスタートする」、「分からない子を一人にしない、放置しない」、「子どもと子どもをつなく」をイメージして授業を進めました。

(1) 前半のじゃんけんゲーム

○子どもたちは、じゃんけんが大好きで大いに盛り上がりました。

(2) 課題(とつても むずかしい もんだい)について班の形になって考えました。

①指示したこと

○「分からなかったら、斑の子に聞きなさい。聞かれたら、応えなさい。」

②自分の答えを隠している子がいたので、全体に指示しました。

○『自分の答えを隠してはいけません。「分からないから教えて。」と言う子に教えます。』

→「(隣の子が)見てくるから」とのことだったので、「見せてほしいときは、“見せて”と言います。」という指示も付け加えるべきでした。

③“4人とも分からない”という斑があったので、全体交流を実施しました。

○「4人とも困っている、分からないというところはありませんか？」

○どこでこまっているか、発言させました。

ア)○○さんと◇◇さんは、どちらが多く取ったのか、分からない。

イ)式をどうやって書けば良いか、分からない。

ウ)文をどうやって書けば良いか、分からない。

○ア)について、「何か言える人はいますか?」と返しました。

○数名を指名した後、「困っている人」に分かったかを確認しました。

○ア)が分かったのだから、「イ)ウ)はできるね」と確認しました。

④それでも書けない人が何人もいたので、①の指示を繰り返しました。

⑤それでも書けない人がいたので、どこで困っているか尋ねたところ、「○○さんと◇◇さんはどっちが多く取ったか分からない」というので、再度、全体で指導をしました。

板書	○○さん	9こ	
	□□さん	$9 - 3 = 6$	← 子どもに発言させる
	◇◇さん	$6 + 5 = 11$	← 子どもに発言させる

「誰が一番多く取ったのですか?」 ◇◇さん

「では、書きなさい。」

○全員が正しく書き上げることは求めませんでした。

⑥「できた人は【ふりかえりをしよう】を書きます」と指示しました。

○チャイムがなったので、「書けた人から提出して休み時間にします。」と指示しました。

○振り返りを書けない人がいたので、「友だちのふりかえりを見せてもらいなさい。それをヒントに書きなさい。」と指示しました。

【「おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう2」】

問題を作るときの指示

名前や数字を変えても良い

「およかったです」を「すくなかったです」に変えても良い。

4 実践を終えて

(1) おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう

1時間

○子どもたちはじゃんけんが大好きで、前半は大いに盛り上がりました。

○班内でじゃんけんゲーム(5回戦)を行ったので、時間がかかりました。

※「分からない子からスタートする」、「分からない子を一人にしない、放置しない」、「子どもと子どもをつなく」をイメージして授業を進めました。概ねこの方向で展開できたと思います。しかし、「最後まで全員が正しく書き上げることを求めなかった」ことから、分からない子を放置してしまったのではないかと反省が残りました。

(2) おはじきを使ってじゃんけんゲームをしよう2

1時間

○子どもたちが作った問題に引き算があったので驚きました。いろいろ工夫しているところがあり、面白かったです。

○問題を作るには、数量関係が理解できていないと作ることはできないと思います。特に、引き算を考えた子どもは、数量関係がよく理解できているのかなと思いました。

(以上)

おはじきをつかって、ジャンケンゲームをしよう

1ねん()くみ なまえ()

- 1 おはじきをつかって、ジャンケンゲームをします。5かい しょうぶ です。ジャンケンにかつた ひとは、おはじきを3こ もらいます。あいこのひとは、1こ もらいます。まけた ひとは、おはじきを もらえません。おはじきがないので、したのしかくに すうじを かきます。

	1かいめ	2かいめ	3かいめ	4かいめ	5かいめ	ごうけい
あなた	こ	こ	こ	こ	こ	こ

ゆうしょう したのは、だれですか。 ()さん

- 2 とっても むずかしい もんだい

おはじきをつかって、ジャンケンゲームを しました。〇〇さんは、おはじきを 9こ とりました。□□さんは、おはじきを 〇〇さんより 3こ すくなくったです。◇◇さんは、おはじきを □□さんより 5こおおかつたです。ゆうしょうしたのはだれでしょうか。

.....

.....

.....

.....

【ふりかえりをしよう】

.....

.....

おはじきをつかって、ジャンケンゲームをしよう2

1ねん()くみ なまえ()

- 1 おはじきをつかって、ジャンケンゲームをします。ジャンケンは、せんせいとします。5かいしょうぶです。ジャンケンにかつたひとは、おはじきを3こもらいます。あいこのひとは、2こもらいます。まけたひとは、1こもらいます。おはじきがないので、したのしかくにすうじをかきます。

	1かいめ	2かいめ	3かいめ	4かいめ	5かいめ	ごうけい
あなた	こ	こ	こ	こ	こ	こ

- 2 ずにかいてかんがえよう

【もんだい】 おはじきをつかって、ジャンケンゲームをしました。

◇◇さんは、おはじきを7ことりました。〇〇さんは、◇◇さんより4こおおかつたです。〇〇さんは、おはじきをなんことりましたか。

ずにかいてかんがえましょう。

【ず】 ◇◇さん ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

【しき】

【こたえ】

- 3 うえの もんだいをさんこうにして もんだいをつくろう

【もんだい】 おはじきをつかって、ジャンケンゲームをしました。

ずにかいてかんがえましょう。

もんだいをといたひと ()さん

【ず】

【しき】

【こたえ】

- 4 ふりかえりをしよう

おはじきをつかって、ジャンケンゲームをしよう3

こうちょう先生からの^{ちようせんじよう}挑戦状 1ねん()くみ なまえ()
つぎのもんだいが とけるかな。

1 ○○さんの もんだい

こうちょう先生が、10こ とりました。○○先生が、こうちょう先生より 5こ おおくとりました。○○先生は、なんこ とりましたか。

しき _____

こたえ _____

2 ○○さんの もんだい

ヒノシンは、パソコンを 4こ かいしました。セバスチャンは、ヒノシンより 5こ おおかったそうです。セバスチャンは、なんこ かいしましたか。

しき _____

こたえ _____

3 ○○さんの もんだい

ゲームさんは、おはじきを 9こ とりました。スマホさんは、ゲームさんより 4こ おおいそうです。スマホさんは、なんこ ですか。

しき _____

こたえ _____

4 ○○さんの もんだい

こうちょう先生が 9こ とりました。○○先生は、こうちょう先生より 5こ おおかったそうです。○○先生は、なんこ とりましたか？

しき _____

こたえ _____

5 ○○さんの もんだい

○○さんが、おはじきを17こ とりました。□□さんは、○○より 3こ すくなかつたそうです。□□さんは、なんこ とりましたか？

しき _____

こたえ _____

6 ○○さんの もんだい

○○くんは、あめを12こ もっています。□□さんは、○○くんより 4こ すくなかつたそうです。□□さんは、なんこ もっていますか？

しき _____

こたえ _____